

第12回 (9/21号)

# 水稻病虫害発生予察の結果について

## ①生育状況

生育状況は概ね平年並みの生育で、順調に進んでいます。どの地区も籾の中身が固まり固くなる固熟期に入っていました。長岡の小坂・天野地区、大仁の神島・白山堂地区は籾が色付き始める黄熟期に入っている圃場も見られます。

## ②病虫害状況

どの圃場でもウンカ類やヨコバイ類の害虫を含む病虫害の発生はほとんど確認出来ませんでした。

他の地域の秋ウンカの発生情報ですが、伊豆市で秋ウンカの発生が確認されました。今のところ被害は確認されていませんが、台風や強風により伊豆の国市管内に飛来する可能性が考えられます。本日の調査では秋ウンカの発生は確認されていませんが、今後の発生予察と自身の圃場を確認して頂き、必要に応じて薬剤散布を検討して下さい。

また今回の調査で、ニカメイガによる被害と稲こうじ病に罹病した穂が見られました。どちらも防除適期は幼穂形成が行われる8月頃になります。被害が多い圃場は次年度の対策を検討して下さい。



**特徴**  
出穂期以降に籾周辺に黒や黄色のカビの塊が見られる。  
コンバインで菌塊が飛ばされる事が多い。  
着色米の発生要因

**要因**  
維管束を通じて感染  
7~8月の多雨や多肥で発生が助長される。

↑稲こうじ病



**特徴**  
出穂期に白い穂が見られ、簡単に引き抜ける。

**要因**  
ニカメイガ成虫が8月上旬に産卵  
幼虫が株元から食入し発生する。

↑ニカメイガによる食害

※商品の値段は全て税込表示です。

○トレボン粉剤DL 3~4kg/10a 1,210円/1袋 (3kg)

時期：収穫7日前まで

備考：ウンカ類、ヨコバイ類、イナゴ類、カメムシ類

問い合わせ：韮山営農経済センター 田中・小鹿 055-949-0055

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。